

地 域 経 済 動 向

平成 17 年 11 月 28 日



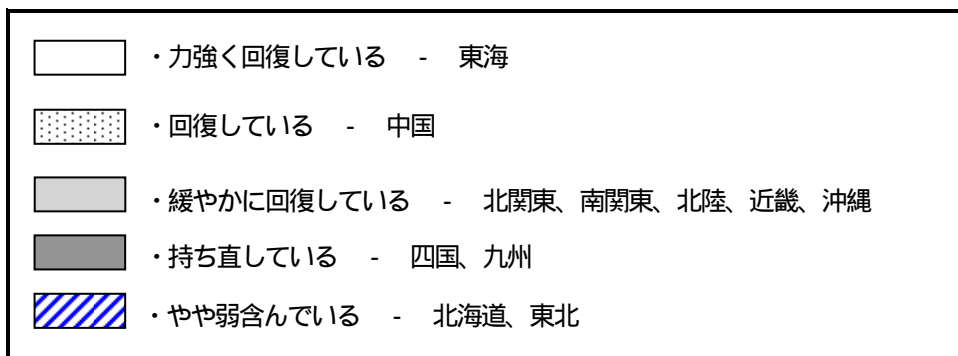
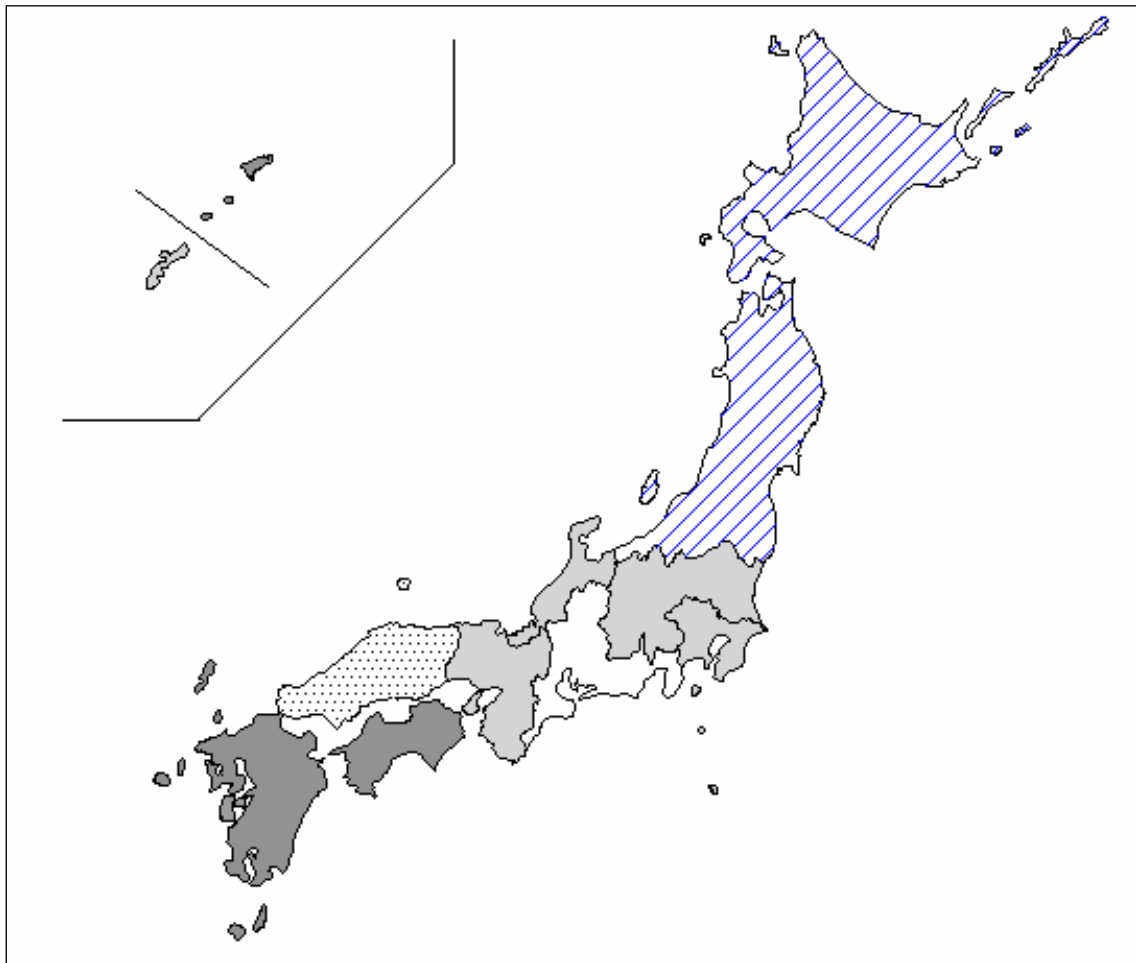
内閣府政策統括官室
(経済財政分析担当)

目 次

- 1 概況
- 2 トピック
- 3 地域別の動向
 - (1) 北海道
 - (2) 東北
 - (3) 北関東
 - (4) 南関東
 - (5) 東海
 - (6) 北陸
 - (7) 近畿
 - (8) 中国
 - (9) 四国
 - (10) 九州
 - (11) 沖縄
- 4 主要指標
- 5 参考資料

1 概況

(1) 各地域の景況判断



各地域の景況判断	北海道	東北	北関東	南関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
力強く回復している											
回復している											
緩やかに回復している											
持ち直している (回復の動きに一服感がみられる 弱いながらも回復の動きがみられる)											
やや弱含んでいる											

(備考) は、今回調査の判断。 は、前回調査の判断。

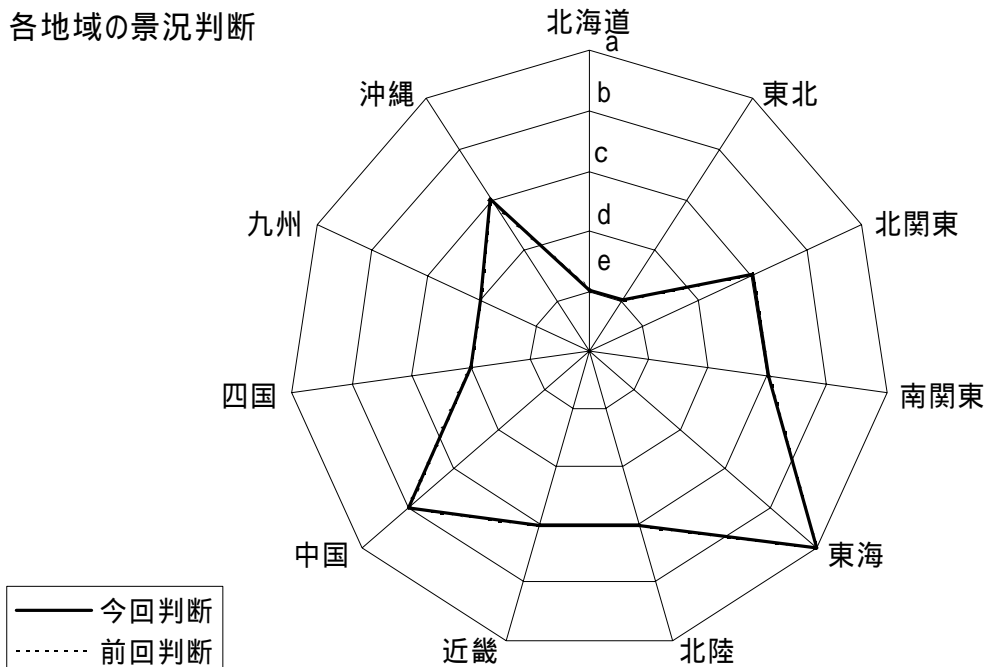
今回調査（平成17年11月）の前回調査（平成17年8月）との比較

上方修正・・・なし

下方修正・・・なし

各地域（北海道、東北、北関東、南関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄）の景況判断については前回調査と同じである。

各地域の景況判断



- a: 力強く回復している
- b: 回復している
- c: 緩やかに回復している
- d: 持ち直している
回復の動きに一服感がみられる
弱いながらも回復の動きがみられる
- e: やや弱含んでいる

(2) 各地域の景況判断と主要変更点

		北海道	東北	北関東	南関東	東海
景況判断	8月 (前回)	やや弱含んでいる	やや弱含んでいる	緩やかに回復している	緩やかに回復している	力強く回復している
	11月 (今回)	やや弱含んでいる	やや弱含んでいる	緩やかに回復している	緩やかに回復している	力強く回復している
鉱工業生産 (沖縄は観光)	8月	おおむね横ばい	おおむね横ばい	おおむね横ばい	おおむね横ばい	堅調に増加
	11月	おおむね横ばい	おおむね横ばい	おおむね横ばい	おおむね横ばい	堅調に増加
個人消費	8月	やや弱含んでいる	やや弱含んでいる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	緩やかに回復している
	11月	やや弱含んでいる	やや弱含んでいる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	緩やかに回復している
雇用情勢	8月	依然として厳しい状況であり、持ち直しの動きが緩やかになっている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている	改善している	改善している	着実に改善している
	11月	依然として厳しい状況であり、持ち直しの動きが緩やかになっている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている	改善している	改善している	着実に改善している

(注) は上方修正、 は変更なし、 は下方修正を表す。

北 陸	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
緩やかに回復している	緩やかに回復している	回復している	持ち直している	弱いながらも回復の動きがみられる	緩やかに回復している
緩やかに回復している	緩やかに回復している	回復している	持ち直している	弱いながらも回復の動きがみられる	緩やかに回復している
緩やかに増加	おおむね横ばい	堅調に推移	おおむね横ばい	おおむね横ばい	増加
緩やかに増加	おおむね横ばい	堅調に推移	おおむね横ばい	おおむね横ばい	増加
おおむね横ばい	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
おおむね横ばい	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
着実に改善している	依然として厳しい状況だが、改善が続いている	改善している	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きも強い	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きがみられる
着実に改善している	依然として厳しい状況だが、改善が続いている	改善している	持ち直しの動きが続いている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きも強い	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている

2 トピック

<トピック1> 製造業がけん引する地域の設備投資

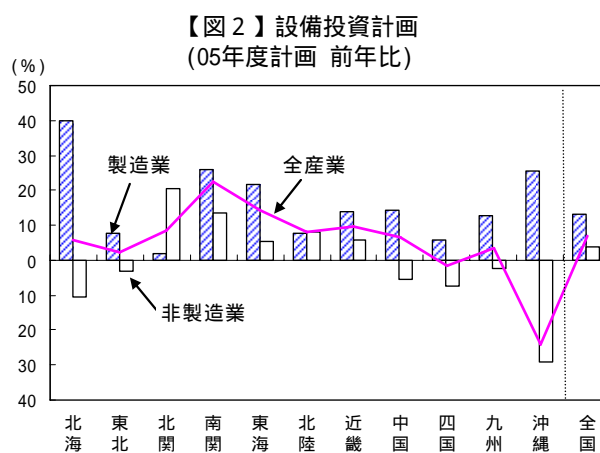
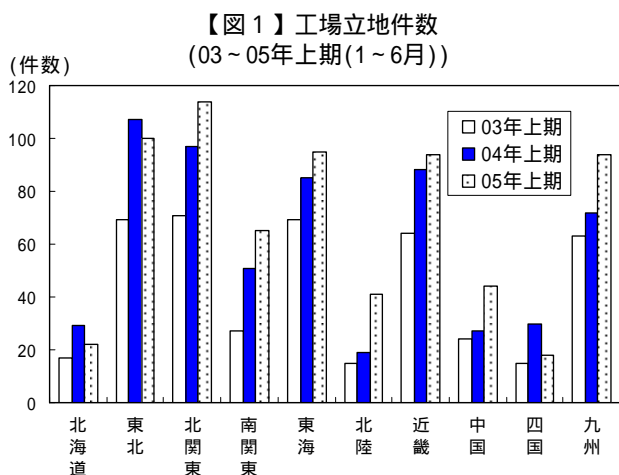
設備投資の増加基調は継続している。

工場立地件数は、05年上期（1～6月）で、7地域で前年を上回った。高水準だった04年をさらに上回るペースとなっている（図1）。

○05年度の計画をみても、04年度に続き、製造業は全地域で前年を上回っており、全産業でもほとんどの地域で前年を上回っている。このうち製造業では、ほとんどの地域で、輸送用機械や電子部品・デバイスを中心に、工場新設や能力増強などが予定されている。また、その他の業種についても各地で大型の設備投資が計画されている（図2、表1）。

景気ウォッチャー調査（9月）でも設備投資の力強さがうかがえ、その波及効果もみられる。

- ・公共工事が減少するなか、建設投資を民間需要が下支えする構図が鮮明になっている（四国の一般機械器具製造業）。
- ・設備投資意欲が非常に高まり、大企業から中小企業まで動きが力強い（東海の建設業）。



【表1】05年度以降の大型の設備投資計画

県	業種	形態	投資額(億円)
北海道	食料品	工場新設	120
青森	金属	設備更新	120
神奈川	輸送用機械	本社移転、 研究拠点拡充	合わせて1000 (5年で)
愛知	輸送用機械	工場新設・増設	200
石川	電子部品・デバイス	増設	500弱
兵庫	電子部品・デバイス	工場新設	1800 (2年で)
広島	鉄鋼	高炉改修	250
愛媛	化学	増設	100
福岡	印刷	増設	550

(出所)図1：経済産業省「工場立地動向調査」により作成。九州に沖縄を含む。05年は速報値。

図2：日本銀行各支店「企業短期経済観測調査」により作成。東北は6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）であり、新潟県を含まない。北関東は日本銀行前橋支店管内、南関東は神奈川県。東海は3県（岐阜県、愛知県、三重県）であり、静岡県を含まない。九州は沖縄も含む。

表1：各種新聞報道等により内閣府作成。

<トピック2> 原油価格高騰の地域経済への影響

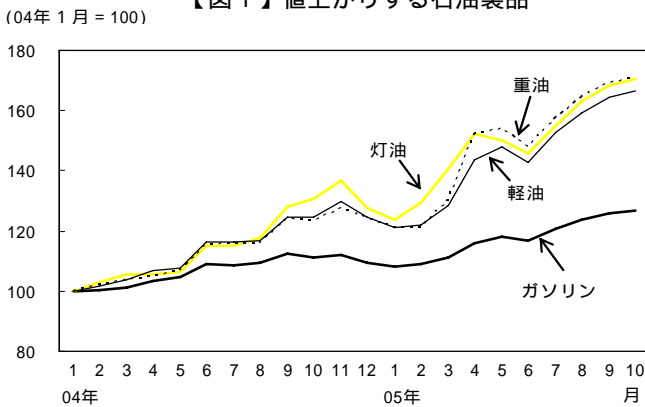
原油価格の高騰に伴い、石油製品の価格の上昇が続いている。農漁業や運輸業で用いられるA重油や軽油、灯油では04年1月に比べ、6割程度上昇した(図1)。

各地域の消費支出に占めるガソリン支出、灯油支出の割合をみると、都市圏では低く、地方圏では高いという傾向がみられる。特に北海道や東北、北陸といった寒冷地では、冬場の灯油の消費量が多く、全国平均を大きく上回っており、今後、個人消費への圧迫要因になることが懸念される(図2)。また、消費者物価をみると05年7-9月期では、自動車等関係費(自動車購入費やガソリン代、自動車保険料など)が全地域で、消費者物価の上昇に寄与している(図3)。

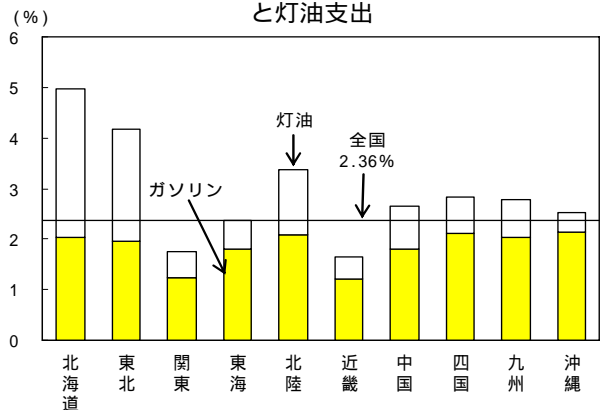
景気ウォッチャー調査(10月)においても、「物流コストの値上がりなどで、利幅は縮小し続けている」や、「冬に向けて暖房用の灯油や重油の高値が懸念される」など製造業や輸送業、ガソリンスタンドを中心に多くの企業から原油高騰の影響や先行きを懸念するコメントが寄せられている(表1)。

○原油価格高騰の影響は、地域や業種によって差がみられるものの、今度とも地域経済への影響に注意が必要である。

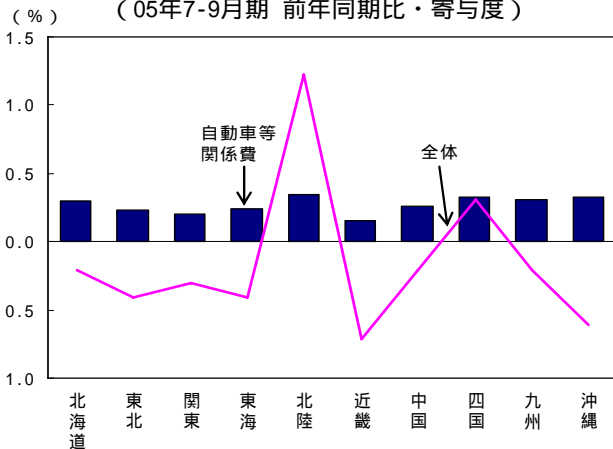
【図1】値上がりする石油製品



【図2】家計に占めるガソリン支出と灯油支出



【図3】消費者物価指数 (05年7-9月期 前年同期比・寄与度)



【表1】景気ウォッチャー調査にみる原油価格の影響

地域・業種	コメント	判断
(現状)		
北陸輸送業	原油価格の高騰で輸送コストは上昇しているが、それに伴った運賃の値上げが見込めないため、利幅が減少している。	
中国乗用車販売	ガソリンの値上げが大きな要因となっており、特に大きな車種を扱う店は厳しい。商談でも、燃費のことや先行き不安のことから長引くことが多い。	
九州ガソリンスタンド	ガソリン価格の高騰により、2回に1回はセルフを利用する顧客が増えている。単価が安いところにシフトする傾向が出ている。	
(先行き)		
北海道スーパー	原油価格の高騰は、暖房費のかさむ北海道の冬期間の消費に対する大きな圧迫要因となる。客の消費行動は一段と厳しくなり、またそれに連れて競合各社の販促競争も更に激しくなる。	
南関東出版・印刷・同関連産業	石油製品の値上げのためか、材料のみならず加工屋の賃上げも上がってくるので、仕事が一層取りづらい環境になっている。	

(出所)図1：日本銀行「企業物価指数」により作成。重油はA重油。

図2：図2は総務省「家計調査」により作成。ガソリン支出割合は、02年8月～05年7月の消費支出に占めるガソリン支出の単純平均。灯油支出割合は、過去3年の冬季(12月～2月)期間中の消費支出に占める灯油支出の単純平均。

図3：総務省「消費者物価指数」により作成。

表1：内閣府「景気ウォッチャー調査」により作成。「判断」の「」は「変わらない」、「」は「やや悪くなっている」ことを示す。